

平成27年号

鹿陵会会報

1962年頃の
鳥居高校全景



1948年 卒業式

CONTENTS

- p.1 懐かしのフォトグラフ…
- p.2~3 ご挨拶・職員紹介
職員異動のご案内
PTA役員のご案内
- p.4~5 同窓会つうしん
兼高松高校野球部OB、名投手
重木寛作君、車谷長吉君を悼む
- p.6 定期幹事会報告
同窓会事務局のご案内
- p.7 母校だより part1
第50回運動会
卒業生進路状況一覧
同窓会事務局よりお願い
- p.8 母校だより part2
部活動報告
認知症サポーター養成講座



1942年 創立時の校門・校舎



1949年 学校主催のバザー会場



1949年 音楽会



1951年 昼食時の様子

1951年「なかよし橋」を
下校する女子生徒達

懐かしの 創立(昭和17年)〜昭和30年頃 のフォトグラフ…



1952年 体育祭



1953年
クラブ活動 演劇班



1952 修学旅行



1951年 クラブ活動絵画班



1955年 職員室での先生方



1955年 第7回体育祭



1955年 体育祭、七福神の行進

平成27年度 職員紹介



校長 赤松良一



教頭 中正佳秀



- 1年生**
- 福永 麻帆 特別活動部 1年副担任
 - 高松 康司 特別活動部 1年副担任
 - 佐伯 知香 特別活動部 1年6組
 - 山口 雅之 特別活動部 1年5組
 - 小林 勝美 特別活動部 1年4組
 - 塩田 晃士 特別活動部 1年副担任
 - 内藤 道子 特別活動部 1年主任
 - 松下 幸之 特別活動部 1年1組
 - 田中かおる 特別活動部 1年2組
 - 多田 清志 特別活動部 1年3組



- 専門部**
- 大村 育子 特別活動部 特別活動部長
 - 堀 神二 特別活動部 特別活動部長
 - 清水 阿礼 特別活動部 特別活動部長
 - 赤穂 智史 特別活動部 特別活動部長
 - 和田 勝士 特別活動部 特別活動部長
 - 高田 育男 特別活動部 特別活動部長
 - 高田 雄太 特別活動部 特別活動部長
 - 鎌田 恒久 特別活動部 特別活動部長
 - 井上 輝花 特別活動部 特別活動部長
 - 荒木 仁恵 特別活動部 特別活動部長

- 職員異動のご案内 (平成27年度)**
- ▼新任者 (平成27年4月)
- 教頭 中正佳秀
 - 教諭 荒木 仁恵 (保健体育科)
 - 教諭 松下 泰之 (保健体育科)
 - 常勤講師 高松 康司 (国語)
 - 長尾 勇佑 (国語)
 - 福永 麻帆 (国語)
 - 高田 雄太 (国語)
 - 時間講師 相馬 孝彦 (地歴)
 - 松田 叶子 (英地)
 - 事務職員 渡邊 紀 (事務)
- ▼前任者 (平成27年3月)
- 教頭 高桑 由雅
 - 教諭 川西 早苗 (国語)

鹿陵会の会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。本年5月24日に開催されました幹事会におきまして、鹿陵会会長を務めさせていただきますことになりました。第24回卒業の山本です。

思い起こせば「目前に迫った師磨高校創立七十年事業を新体制で」と、四年前に鹿陵会会長に鷺尾氏、幹事長に私が就任いたしました。当初「七十年事業、鹿陵会って?」...五里霧中の状況から始まったように思います。

鷺尾会長は、最大の懸案でした創立七十年事業と記念誌の作成に導かれ、機関誌の発行、鹿陵会規約の整理等々いかに手配を發揮されました。この四年間、会長には大変なご苦労をいただいた事を幹事長として見て参りました。

鷺尾会長は諸般の都合で会長を退任されますが、監事として残っていただけました。私たち役員は新体制のもと、鷺尾会長より引き継ぎました鹿陵会を継承・発展させ、同窓の皆様により親しみの持てる会にしていく事が重要と思っております。

鹿陵会の皆様には、どうかご指導・ご協力の程よろしくお願いいたします。



ご挨拶

鹿陵会会長 山本博祥

このたび鹿陵会の幹事長を仰せつかりました第十九回生の眞名憲一でございます。創立七十三周年を迎え、伝統ある鹿陵会の幹事長として、重責を感じます。

私が卒業したのは昭和四十二年でした。昨年十月末に、同級生の世話でゴルフコンペを開催し十数人が集まりました。卒業後四十八年の齡を経た今、改めて自己紹介をした次第でした。当時を懐かしみながら呼び合い、楽しく嬉しい一時を過ごし、次回の元氣での再会を約束して別れました。

卒業以来、皆それぞれに四十八年間のいろんな人生経験をしてきた筈ですが、それらを超越して同窓生の絆は素晴らしいもの。奇しくも同じ年代に同じ学校で学び、多情多感な青春時代を共にした仲間には本当に良いものです。ぜひこの感動の輪を鹿陵会全体につなぎ、広げていきたいと思っております。

先輩を敬い、後輩を見守りながら微力ですが、鹿陵会の更なる発展に全力を傾注する所存です。よろしくお願いいたします。



幹事長就任のご挨拶

鹿陵会幹事長 眞名 憲一

ご挨拶

鹿陵会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から本校の教育活動にご理解と、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本校の校訓「自主・勤勉・信愛」の精神を基調とし、一人ひとりの多様な能力と個性の伸長を図る教育活動を進めべく、教職員一丸となって全力で取り組んでいます。

さて、今年は五月中旬に早々と台風が襲来するなど、天候が心配でしたが、六月十一日（木）、十二日（金）に「切り開こう 君が知る未来への道は 一つじゃない」のテーマで第五十回鹿陵祭（文化祭）を実施しました。昭和四十年の文化祭で初めて鹿陵祭という名称が登場し、今年で五十回目という節目の文化祭となりました。また、九月十七日（木）には体育祭も予定しております。

最後になりますが、鹿陵会会員の皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



A.S.M.E.
グレイ・メラティス



- 3年生**
- 平田てる子 教諭 英語 3年3組
 - 岩尾 和宏 教諭 体育 3年2組
 - 萩野真久子 教諭 社会 3年5組
 - 藤谷 創 教諭 数学 3年4組
 - 寺西 仁美 教諭 英語 3年6組
 - 中川 泰輔 教諭 数学 3年主任
 - 嶋田安紀子 教諭 英語 3年1組
 - 藤川 光義 教諭 理科 3年副主任
 - 法上 陽子 教諭 英語 3年副主任
 - 倉田 裕太 教諭 英語 3年副主任



- 2年生**
- 寺前 恭代 教諭 英語 2年3組
 - 梅谷 昇平 教諭 国語 2年2組
 - 山根 貴子 教諭 英語 2年6組
 - 大塚 宏光 教諭 数学 2年4組
 - 筒井 結弥 教諭 社会 2年5組
 - 橋 幸男 教諭 数学 2年副主任
 - 近藤 妙子 教諭 英語 2年副主任
 - 山崎 新平 教諭 体育 2年1組
 - 稲垣真由美 教諭 国語 2年主任
 - 松田 啓史 教諭 英語 2年副主任



- 専門部**
- 光本 一夫 教諭 社会 国語 英語
 - 坂元 剛介 教諭 福祉 生徒指導部長
 - 中川 千里 教諭 社会 福祉 国語 英語
 - 岩井いづみ 教諭 理科 生徒指導 教育相談
 - 富沢 久詞 主幹 英語 社会 生徒指導
 - 山下 照雄 常務 英語 数学 生徒指導 生徒会
 - 片岡 貴史 常務 英語 体育 生徒指導
 - 浅田 昭佳 常務 英語 人権教育 校長
 - 平野 昭吾 教諭 英語 体育 保健副部長
 - 長尾 明佑 常務 英語 情報 生徒指導

ご挨拶

生徒会長 永井花歩

このたび、鹿陵高校の生徒会長に選ばれました永井花歩です。私は、これまで先輩方が築き上げてくださったこの鹿陵高校をより良い学校にするために、新しい二つのことに取り組みたいと思います。

一つ目は募金活動です。これまでは健康福祉コースの生徒たちが中心となっていました。しかし、もっと多くの人に協力してもらい最近起こったネパールでの地震、東日本大震災やバトナムなどの発展途上国への募金を集め、他の地域や他の国を援助していきます。また、新しい発見や知らなかったことをたくさん学べる機会になると思います。学生であることを学校生活に生かし、生徒たちの学校生活をより充実したものにしていきます。

二つ目は、朝の地域への清掃活動です。これからは月に一度生徒から有志を募ります。鹿陵高校周辺のゴミ拾いや掃き掃除をして地域に貢献します。この活動を通して、近隣の方たちとの交流を深め、もうと鹿陵高校のことを知っていただきたいと思います。また、生徒たちも学年の隔たりなく共に清掃活動を行うことでチームワークを強くし、これからの学校行事をさらに活気のあるものにしていきます。

私はこの一年間先輩方が鹿陵高校の先頭に立ち引いてくださるのを、間近で見学してきました。それを踏まえて、良い所は引き継ぎ、改善できる所は改善して、新しい鹿陵高校を創っていきます。至らない所もたくさんあるとは思いますが、これからよろしくお願いたします。

PTA役員のご案内 平成27年度

会長	寺尾 宏行	常務	伊藤 理恵	常務	田中 智恵
副会長	山本 昭江	常務	加古原 巧	常務	足立 秀明
常務	天野 美幸	常務	仲井 章	常務	濱田 美穂
常務	有方 さおり	常務	石井 淳	常務	中野 明
常務	内田 秀樹	常務	今坂 陽里	常務	伊藤 明
常務	森田 和代	常務	警尾 和彦	常務	伊藤 明
常務	宮崎 ひとみ	常務		常務	伊藤 明
会計	明石 ひとみ	常務		常務	伊藤 明

同窓会ついでに

第21回生同窓会(鹿餐会)ご紹介 65歳を記念して

幹事代表

岩井 克則

平成27年3月28日に私達21回生は、懐かしい青空と桜の開花が始まった姫路城の直近の護国会館において、同窓会を開催致しました。

今回は趣向を変えて第一部を午前11時から「花見」とし、第二部の宴会は午後2時から午後7時までと2段階への構成をとりました。

参加者は男性41名、女性29名、合計で70名であり、遠くは埼玉県草加市や福岡



県柳川市からも参加がありました。

また、中には体調不良の為、車椅子での参加者もあり、この同窓会に賭ける意気込みを感じました。当日は国宝「姫路城」のグラウンドオープン翌日ということもあり、混雑が心配されましたが特に関わりなく8時間の長丁場であったにも関わらず、久しぶりの再会に話が弾みました。時間が足りないといった意見もある中、和やかで楽しい同窓会となりました。

2年後には今回以上の参加者を募り、より一層の盛会となる同窓会を開催致します。

※姫路市立新豊高校21回生(昭和44年卒)
<http://rokusankai21.blog.fc2.com/>

第65回生同窓会ご紹介

代表 前田真治、植木康仁

私も65回生は平成25年3月に卒業後、成人式前日となった平成27年1月11日(日)に同窓会を開催致しました。これにあたり、鹿陵会より協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今回の同窓会では学年主任の中川先生をはじめ7名の先生方にご出席頂きました。つい2、3年前の在学時の話にも花が咲き、成人式を迎える私たちに祝福のお言葉も頂き、このように無事に成人を迎えられたのも先生方のご指導あってこそのものだと再認識し、大変有り難く感じております。

私たちが高校3年時、新豊高校は創立70周年を迎えました。今回の同窓会を続けていくことにより、65回生が1丸となり後輩への支援に繋がられるよう努めてまいります。また、新豊高校がこの先80年、90年、100年と、長い歴史を刻んでいけるよう新豊高校ならびに鹿陵会のより一層のご活躍を心から期待しております。



飾磨高校野球部OB、名投手

昭和三十三年、第10回卒業生に本校野球部で大活躍した都出昇弘さんという豪速球投手がおられました。野球部のチームメイトで共に活躍された中塚史雄さん(アカデミービル経営)や、親友だった松岡一義さん(福岡ガソリンスタンド経営)達のお話では、当時の鎌谷市校長が、飾磨高校の名声を高める目的で野球部を強くしたいと考え、プロ野球界の名監督だった別当薫監督(大洋・広島等の監督を歴任)の弟さんを野球部のコーチに招き、とにかく都出さん達部員を練習にて大変鍛えたそうです。

しかしながら都出さんは大変練習がらいで、陣を見れば練習をさぼっていた様子で、ほんとうに不思議な天才豪速球投手だったそうです。当時、野球部は惜しくも全国大会出場とはなりませんでしたが、都出さんの活躍はプロ野球各球団から注目を浴び多くのスカウトもあつたようです。卒業後は川崎重工に就職されアマチュアとして野球人生を歩み出されますが、卒業の翌月4月5日には早々と兵庫県社会人野球選手権で川重の優勝に貢献されました。

大変残念なことが、神戸にお住まいだった都出さんは、阪神淡路大震災の後に仮設住宅で50日間も気付かれずに亡くなれていました。平成九年に神戸新聞に「孤独死エース供養を」という見出しで記事が掲載されました。ご冥福をお祈り申し上げます。



第10回卒業の野球部の皆さん

新聞掲載された都出さんの活躍。
※昭和31年7月、兵庫県選手権の準決勝戦、飾磨対豊岡の8回表、飾磨一攻、高橋三雄走者中、都出選手、西本選手の間隙に走り生還、飾磨高校はこの決勝で1対0で勝利しました。



直木賞作家 車谷長吉君を悼む

高島正昔 (十六回卒喪)

何時だったのか、車谷君が寺へ遊びに来てくれた時、「ペンネームの『長吉』は、中唐の詩人李賀から来ているのか」と尋ねたことがあった。彼は「そうだ」と答えた。「何故、李賀か」と一歩進んで尋ねておけばよかったと今になって悔やんでいる。李賀は字(あざな)を長吉といい、翰林の大御所韓愈に認められたが若くして世を去った。唐詩の世界では「李白為天才絶、白居易為人才絶、李賀為鬼才絶」と言



写真左から車谷長吉、高島正昔

われる。李賀の詩は感性鋭く難解で「死」や「亡霊」がつきまとい人間の作ではないとされている。「鬼才長吉」、車谷君もそれを狙ったのかもしれない。

平成十九年、姫路文学館で「作家車谷長吉魂の記録・特別展」があった。その冊子に文学館より「車谷君の思い出」を書くよう依頼され「……昭和五十八年だったか……ポロ自転車に乗り下駄履きでタオルを腰にひっかけ坊主頭の童からな姿で寺へやって来て……一頻りしゃべって帰った。私は彼の蘊蓄に舌を巻いてしまった。当時の彼は小説を書く為必死に勉強していたのだろう。その時の車谷君の姿には生命を賭して精進している者だけが獲得する清澄さと静けさがあり、将来彼は白玉の楼に上り得る天賦の奇才が開花すると思った。その十五年後、車谷君は直木賞を買ったのだ……」と書いた。「白玉の楼」は文人が死後に行く天上の樓閣で、李賀が亡くなる時上帝より白玉楼の記を書くよう命じられたという故事がある。

車谷君がこの世を去る前夜、指寺本堂に一匹の鰻が舞った。街中の寺であり鰻が飛ぶことは曾つて一度もなく、坐禅中の若住職が不思議そうに「鰻が飛んでいる」と。五月十八日夕方、朝日新聞社より車谷君が十七日死去したと知らされ、本堂に鰻が舞ったことに思いを馳せ、車谷君が鰻になっ

てお別れに来てくれたという気がして次のような漢詩を作り彼への饗別とした。

車谷長吉崩前夜 坐禅中一匹鰻舞本堂
告別孤鰻坐處周

(別を告げる一匹の鰻が坐禅している周りを飛んだ)
堂中暗燭燭光浮

(うすぐらい本堂に鰻の光が浮かぶ)
奇文氣骨超人世

(すぐれた文章骨髄は世の中をどびこえていた)
賞得仙階白玉楼

(今、君は白玉楼の仙階(魂)を得ているだろう)

李賀の詩に「漆炬新人を迎へ、幽墳鰻擾擾(火のたまが新しい死人を迎え、おくまつた暗い墓穴に鰻が飛んでいる)」があるが、車谷君が、鰻になって別れを告げに来てくれたと心底私は思っている。

それにしても残念なことは、何時だったか車谷君が、道元禅師の『正法眼蔵』に取り組み作品を作りたいと言っていたことが実現しなかつたことである。『正法眼蔵』に取り組みたいと彼が言った時、私は内心

「ギョッ」と畏怖を覚えた。『正法眼蔵』は私にとつて銀山鐵壁で一行たりとも読めない、これが日本語かと思える名文である。その名文に彼がどのように独自の毒解を施すのか興味と期待が大きく膨らんでいたのだ……。

鹿陵会の会報に同級生として「車谷長吉

君を悼む」文を書くことになったが、悼むといった俗情を彼はきつと非難するだろう。しかし、それは表面的なことであつて、本当は「高島煩わせて済まんなあ」と人懐っこい笑い顔を向けるに違いない。そんな姿が目につくのである。又、「七十二・三才まで作品構想を持っている」と言っていたことを思い出すにつけ、七十才前の車谷君の旅立は少し早いようであつて誠に残念である。

プロフィール

車谷長吉(くまがたにちやうきち)

一九四五年七月一日、兵庫県豊前市(現、姫路市豊前区)にて生誕。本名、車谷 嘉彦(くまがたにちやうじ)。姫路市立御幸高等学校(十六回卒喪)、豊前県立大学文学部独立科卒業(卒論はフランク・カフカ論)、高校3年で文学に目覚め、慶大卒業後も広告代理店や出版社に勤務する傍ら、三島由紀夫の自殺に触発されて私小説を書き始め、処女作「なんまんだあだ」(一九七二年、『鹿野の誌』所収)で新進作家賞の候補となる。一九九三年に『鹿野の誌』で第43回芸術選奨文部大臣新人賞(平成4年度)と第8回三島由紀夫賞を含む授賞。一九九七年に『源流物語』で第25回平林たい子文学賞受賞。本題作は第113回井川賞候補にもなった。『赤白四十八瀬心中未遂』で第19回(一九九八年上半年)直木賞を受賞。同作は二〇〇三年に映画化され、特に評価が高い。一方で、『伊藤整との文学論の論争』から、同作による一九九八年の伊藤整文学賞の小説部門の授賞を拒否している。二〇〇一年に『忍風丸』(『白鹿野』所収)で第27回川端康成文学賞受賞。また、俳人として句集も出しており、二〇〇四年四月、『新選』(二〇〇四年一月号)掲載の私小説「別荘の裏」で事実と異なることを指摘され名譽を傷つけられたとして俳人の森田龍雄に提訴され、同年十二月に撤回の申し立てをのめ和解。これにより、「私小説作家」としての活動を宣言した。以降、史記小説や童話小説、聞き書き小説などに創作の軸を移した。二〇一〇年、新書館より「車谷長吉全集」全三巻が刊行された。二〇一五年五月十七日、誤嚥による窒息のため死去享年69歳。

二〇一五年五月十七日、誤嚥による窒息のため死去享年69歳。

定期幹事会のご報告

平成27年度定期幹事会は、平成27年5月24日(日)午前10時から飾磨高等学校会議室において開催されました。山本幹事長を議長に選任して、鷲尾会長の挨拶、赤松校長の学校の現況報告のあと、議事に入りました。

平成26年度会計、事業報告、及び平成27年度事業計画、平成27年度予算について、熱心な議論の末、承認されました。

鹿陵会 会計報告

平成26年度 鹿陵会 収支決算

◆定期預金の部

項目	予算額	決算額	備考
定期預金①	10,000,000	10,000,000	徳州信用金庫定期
協信定期利息	81,750	92,124	普通預金
定期預金②	5,000,803	5,007,801	三井住友銀行定期
合計	15,082,553	15,099,925	

◆収入の部

項目	予算額	決算額	備考
26年度繰越金			
繰越額	8,842,199	8,842,472	

会費・維持会費・寄付金

項目	予算額	決算額	備考
入会金	240,000	240,000	1,000×240
年会費	858,000	856,800	1,200×714
卒業年度会費	822,500	805,000	3,500×230
合計	1,920,500	1,901,800	
会員維持会費	2,000,000	1,000,640	2,000×500
寄付金	10,000	105,204	
総合計	3,130,500	3,067,644	

◆支出の部

項目	予算額	決算額	備考
会費	60,000	17,883	
クラブ活動補助費	700,000	574,508	
鹿陵祭奨励費	200,000	200,000	
同窓会奨励費	300,000	77,024	
通信費	50,000	31,158	
慶弔費	50,000	0	
事務費	150,000	122,346	
卒業生記念品代	400,000	395,340	
校歌CD作成費	0	0	
会報印刷費	720,000	716,040	
会報発送費	1,600,000	1,565,247	
名簿管理費	88,400	88,400	
予備費	1,000,000	0	
繰越額	6,656,299	8,184,189	
支出合計	11,972,699	11,910,116	

鹿陵会会計事務所を審査したところ、いずれも正確かつ適正に処理されていることを証明します。
 平成27年(2015年)4月2日
 監事人 山根 久幸
 監事人 樋口 剛
 監事人 藤田 隆夫

平成27年度 鹿陵会 収支予算

◆定期預金の部

項目	予算額	前年度決算額	差額	備考
定期預金①	10,000,000	10,000,000	0	徳州信用金庫定期
協信定期利息	102,498	92,124	10,374	普通預金
定期預金②	5,008,799	5,007,801	998	三井住友銀行定期
合計	15,111,297	15,099,925	11,372	

◆収入の部

項目	予算額	前年度決算額	差額	備考
26年度繰越金				
繰越額	8,184,189	8,842,472	658,283	

会費・維持会費・寄付金

項目	予算額	前年度決算額	差額	備考
入会金	240,000	240,000	0	1,000×240
年会費	860,400	856,800	3,600	1,200×717
卒業年度会費	833,000	805,000	28,000	3,500×238
合計	1,933,400	1,901,800	31,600	
会員維持会費	2,000,000	1,000,640	999,360	2,000×1,000
寄付金	10,000	105,204	95,204	
総合計	3,943,400	3,067,644	875,756	

※収入総合計 12,127,589 26年度繰越金+会費+維持会費+寄付金

◆支出の部

項目	予算額	前年度決算額	備考
会費	60,000	17,883	
クラブ活動補助費	700,000	574,508	
鹿陵祭奨励費	200,000	200,000	
同窓会奨励費	300,000	77,024	
通信費	50,000	31,158	
慶弔費	50,000	0	
事務費	300,000	122,346	パソコン購入費含む
卒業生記念品代	400,000	395,340	
校歌CD作成費	0	0	
会報印刷費	720,000	716,040	
会報発送費	1,600,000	1,565,247	
名簿管理費	88,400	88,400	
予備費	1,000,000	0	
支出合計	5,466,400	3,725,927	

27年度繰越金

項目	予算額	前年度決算額	備考
繰越額	6,661,189	8,184,189	

※支出総合計 12,127,589 27年度繰越金+支出合計

同窓会事務局のご案内

○鹿陵会役員のご案内

平成27年度鹿陵会役員

- 会長 山本 博祥
- 副会長 高澤 龍一
- 幹事長 樋口 純
- 副幹事長 貫名 憲一
- 事務局長 寺尾 宏行
- 事務局長 内海 裕文
- 事務局 田中 智
- 事務局 松本 美紀
- 監事 鷲尾 和正
- 監事 山本 照子

○鹿陵会会員の現況について

平成24年度より鹿陵会会員の住所等の管理・維持(メンテナンス)を推進しておりますが、会員の皆様の中には判明できない方も多々おられます。何か情報等がございましたら、はがき・FAX等でご連絡をお願いします。(※お電話でのご連絡は受け致しておりません。)

○鹿陵会会員の情報について

事務局では、会員の住所、電話番号、勤務先などの情報は慎重に取り扱っております。基本的に会員の情報のお答えは差し控えて頂いております。なお、同窓会開催に際しましては、学年幹事を通じてご連絡ください。

○創立70周年記念誌の販売案内

好評をいただきました創立70周年記念誌は、未だ若干在庫がございます。ご購入ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。(一冊、二千円)

母校だより part1

平成27年6月11日(木)、12日(金)に「切り開こう 君が知る未来への道は 1つじゃない」のテーマで第50回鹿陵祭(文化祭)開催



平成27年6月11日(木)、12日(金)に「切り開こう 君が知る未来への道は 1つじゃない」のテーマで第50回鹿陵祭(文化祭)が行われました。

11日目の午前の部で吹奏楽部のファンファーレによるオーケストラで始まり、華曲部、E.S.S.、音楽部、生徒会企画の「向い」スキップ、2年生の学生演技、有志のダンスが行われました。午後の部では、ダンス、クソソング部の演奏や茶道部のお点前、文化部の作品展や運動部のバザーなどが行われました。

2日目の午前の部では吹奏楽部の演奏、演劇部の舞台、1年生の学年演技が行われました。午後の部では3年生やPTAのバザーが盛大に行われました。



卒業生進路状況一覽 (過去3か年順不同)

- ◆ 主な進学先
- 国立大学(短大含む)
 - 兵庫県立大・岡山県立大・尾道市立大・鳥取大・岡山大・香川大・高知工科大・高知県立大など
 - 私立大学
 - 関西学院大・関西大・近畿大・神戸学院大・京都外大・京産大・同志社大・佛教大・立命館大・龍谷大・摂南大・大阪経済大・大阪経済法科大・大阪大・大阪体育大・大阪電気通信大・桃山学院大・大子前大・中子園大・神戸芸術工科大・神戸女学院大・関西国際大・大阪工業大・関西外国語大
- 進子内学院大・関西看護医療大・関西福祉大・京都市立大・神戸女子大・神戸親和女子大・神戸松蔭女子学院大・武庫川女子大・甲南大・甲南女子大・兵庫医療大・関西医療大・宝塚医療大・流通科学大・近大姫路大・姫路獨協大・兵庫大・園田学園女子大・川崎医療福祉大・岡山理科大・神戸薬科大・神戸海星女子学院大・豊岡工業大・東京工芸大・京都学園大など
- 短期大学
 - 関西外国語短大・武庫川女子短大・福栄短大・聖和短大・神戸女子短大・神戸山手短大・神戸常盤短大・川崎医療短大・兵庫大短大など

◆ 主な就職先

- 兵庫興業・サンライフ和立伊賀産業園・とくなが病院・IBCグループ・岡城山・岡タカラ・勝谷備前・光寿園・岡電ビルストア・岡バスタウン・岡医療薬局・岡美容専門学校・岡シンハラ・井上内科医院・ますだ備前・ホテルニューアフジ・アイベステクノ・石塚磁子園・岡江洲工業所・岡野食品園・岡電サービス・カメウチ電機・岡カネカ・川崎重工・山崎特殊製鋼・岡ディービー精工・西日本旅客鉄道・岡日本船渠・日船物流・ネスレ日本・岡山通運・岡マルアイ・ヤマサ精肉・ヤマダストア・岡吉川運輸・岡レールテック・うらや岡・岡ハニーズ・岡セントラル・フルーツなど

同窓会事務局よりお願い

○ 鹿陵会維持会費納入のお願い
姫路市立新府高等学校同窓会「鹿陵会」をこれからも維持管理していくために会員の皆様に維持会費(1,000円)の振込みにご協力をお願いいたします。

- 主な活動として、
- 1、鹿陵会会報の編集と発行
 - 2、母校の施設、設備の充実
 - 3、在校生の活動支援
 - 4、各期同窓会の通信費の援助
 - 5、会員名簿の管理
- 等を行っています。

○ 各同窓会への援助
同窓会開催について「往復はがき代」を交付しています。必要とされます幹事の方は鹿陵会事務局までご連絡ください。

◆ 同窓会事務局取組時間
第1・第2・第3木曜日
午前9時～12時

○ 鹿陵会会報の原稿募集
同窓会事務局では会報に掲載する原稿を募集しております。卒業後さまざまなお分野で活躍の皆さんの近況をお知らせください。また、同窓会の活動や会報についてのご意見などございましたらご案内ください。

同窓会事務局あてに郵便か FAX(079-245-1138)にてご寄稿ください。

○ 鹿陵会ホームページについて
現在鹿陵会のホームページは「姫路市立新府高等学校」のサイト内で運営しております。

■ 鹿陵会オフィシャルホームページ
http://www.rkyg.jp/kyokai/kyokai.html

母校だより part2

部活動報告

フォークソング部 活動報告 顧問 堀田 晃士

前顧問の中道先生からフォークソング部を引き継いで、早10年が過ぎようとしています。そもそもバンドをしようとする人たちは、基本的に自己主張が強いんです。そんな部員たちと意見をすり合わせて、一つの音楽を完成させるのですから、とても苦労がありますが、完成した時の喜びは、ほかの何物にも変えられません。演奏する曲は変わっても、演奏する部員の気持ちは変わらないと信じています。



女子バスケットボール部 活動報告 顧問 井上 優唯花

現在はマネージャーも含め3年生9名、2年生9名、1年生7名で活動しています。チームの目標は、「西播大会優勝、県ベスト8」。チームの目的は、「人生を幸せに生きていくために、必要な人間性を身に付ける」です。バスケットボールを通して、自分を信じる心・困難を乗り越える力・互いを認め合い、協力することの大切さを学び、これからの人生の基盤となる力を養えるチームを目指していきます。



認知症サポーター養成講座

平成27年6月2日(火)午後第5,6校時

健康福祉コース2年生1組の生徒が、認知症サポーター養成講座を受講しました。

姫路市灘地域包括支援センターによる講義、DVD鑑賞、個人ワーク・グループワークなどが行われ、認知症についての知識を学び、認知症の人と接するときの心構えや適切な接し方を知り、こころのバリアフリー社会を地域でつくることの大切さを学びました。



書道部 活動報告 顧問 和田 勝士

普段は半紙にそれぞれの課題を練習しています。文化祭半年前からは、半切という136cm×34cmの画仙紙を使って作品制作にかかります。書きためた中から1点を選び、掛軸に仕立てて展示します。またこの時の作品は兵庫県高等学校総合文化祭にも出品しています。手書き文字が少なくなっていく昨今、美しい文字が書ける技術を身に付けておくことは、一生の財産になると思います。



発行所 鹿陵会

〒672-8031 兵庫県姫路市新堀区豊後672

同窓会事務所 ■ 姫路市立飾磨高等学校内
同窓会事務取扱時間 / 第1・第2・第3曜日 9:00~12:00
TEL079-245-1121・FAX079-245-1138

編集委員会 鹿陵会役員及び学内幹事
制作・印刷 内海印刷株式会社